

## 7 . 河川空間の利用状況

流域の歴史は古く、歴史的な遺跡、神社仏閣が点在しており、大陸との交易を彷彿とさせる浦島伝説や鬼伝説などが伝えられているほか、河川や水と人々の生活との密接な関係を裏付ける蛇伝説などが伝えられている。伝統行事などでも由良川の河川空間を利用した祭事などが行われている。

流域には由良川をはじめ豊かな自然環境が保全されているため、観光・レクリエーションにおいても近年の自然とふれあう野外レクリエーションの活発化に伴って京阪方面からの来訪者が増加している。

由良川の上流では、河川敷が少ないものの様々な河川利用が行われている。美山町のアユ祭り、桜まつり、和知町のアユまつり、カヌー競争など溪流を生かしたレクリエーション利用が行われている。

中流部の綾部市では人形ながし、福知山市では花火大会、筏下りなど自治体におけるイベント利用が多い。また、高水敷整備は、表 7.1に示すとおり福知山市～綾部市区間の一部で行われている。

表 7.1 高水敷整備状況

種別	位置	左右岸	施設名	施設面積	管理者
公園	37.0k	右岸	ゲートボール場	3,508m <sup>2</sup>	福知山市
運動場	49.8k	右岸	運動場	2,956m <sup>2</sup>	綾部市
	51.0k	左岸	運動場	32,024m <sup>2</sup>	綾部市
	52.0k	左岸	運動場	6,692m <sup>2</sup>	綾部市

下流部は、大半が一般民地であり農地として利用されている。イベントとしては、舞鶴市の水無月大祭の花火大会が催されている。

また、由良川は古くから並松での舟遊びや水泳などの場として利用されてきた。現在では高水敷を利用した各種スポーツ、魚釣りや水遊び、散策、水面を利用した水上スポーツなど、様々な利用が行われている。